

**【お問い合わせ先】**

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2019年7月24日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。

本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

**Caterpillar が 2019 年第 2 四半期業績を発表**  
より高い売上高を実現し、約 19 億ドルを株主に還元

(単位：10 億ドル、但し 1 株当たり利益除く)	第 2 四半期	
	2019	2018
売上高	\$14.4	\$14.0
1 株当たり利益	\$2.83	\$2.82

- 売上高は3%増加；1株当たり利益は微増
- 建設機械・エネルギー・運輸（ME&T）事業部門の営業キャッシュフローの底堅さを受け、計19億ドル相当の株式の買い戻しと配当金の支払いを実施
- 通年の1株当たり利益の見通し幅は、12.06ドルから13.06ドルで維持。現時点でこの範囲の下限值になると予想

（イリノイ州ディアフィールド発）— Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2019 年第 2 四半期の業績を発表しました。今四半期の売上高は 144 億ドルで、前年同期の 140 億と比べ 3%増となりました。1 株当たり利益は、前年同期の 2.82 ドルに対し 2.83 ドルでした。

2019 年第 2 四半期は、建設機械・エネルギー・運輸（ME&T）事業部門の営業キャッシュフローが 20 億ドルだったことを受け今四半期に、Caterpillar の普通株式 14 億ドルを買い戻し、5 億ドル相当の配当を支払いました。結果、全社の現金残高 74 億ドルで同四半期を終えました。

Caterpillar の Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼 CEO は、以下のように述べています。

「当社の世界的な競争力を反映し、建設産業部門の過去最高の業績を含め、今四半期の売上高は増加しました。今四半期の堅調な営業キャッシュフローにより、計 19 億ドル相当の株式の買い戻しと配当金の支払いを実現できました。これは、フリーキャッシュフローのほぼ全額を株主に還元するという当社の意図と一致しています。」

## 2019 年見通し

通年の 1 株当たり利益の見通し範囲は 12.06 ドルから 13.06 ドルに維持されており、これには第 1 四半期の 1 株当たり 0.31 ドルの税制改革の効果が含まれます。現時点でこの見通しの範囲の下限値を想定しています。

2019 年も緩やかな売上成長を見込んでおり、この見通しは石油・ガス事業が年度末付近で回復し、ディーラー各社が高めの製品在庫レベルの問題を解決することを前提としています。また、製造コストを相殺する販売価格の見直しが可能と考えています。今四半期に計上された事業再構築費用の増加により、今年度後半の事業再構築費用が大幅に減少すると予想しています。

「2019 年の 1 株当たり利益は、過去最高を記録すると予想しています」と Umpleby 会長兼 CEO は続けます。「私たちは、サービスの向上や製品の拡充など、戦略的投資に継続的に注力することで、長期的な収益性の高い成長を実現するための適切な戦略を確立しています。また、柔軟で競争力のあるコスト構造を含む、オペレーショナルエクセレンスの推進にも引き続き注力していきます。」

なお、この見通しには、年金およびその他の雇用後給付制度の再測定による時価評価損益は含まれておらず、これらは 2019 年第 4 四半期の調整後 1 株当たり利益からその他の個別項目とともに除外されます。

以上

### キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925 年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。

また、1963 年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術の世界へ発信しています。